

東京コイルエンジニア(タイランド)

東京コイルエンジニア(タイランド)は、2003年、角サイズから数十ミリの角サイズの大型チップ

東京コイルエンジニア(タイランド)の外観

東京コイルエンジニア(タイランド)は、タイで各種コイルを生産している。従来主力だったストロボ用トリガコイルと昇圧トランスをラオス工場に移管し、タイでは自動化生産を推進し、新規顧客の開拓を成長戦略として取り組んでいる。

タイでは、自動化設備で生産するNシリーズの巻線型パワーインダクタに特化した。機器向けから、PCなどの情報機器、LED照明、産業機器向けなどの分野の需要に対応

自動化生産推進し新規客開拓

タイの生産拠点は、チェンマイ市近郊のランブーン工業団地に89年に設立した東京コイルエンジニア(タイランド)は、99年にグループ会社である東京コイルエンジニア(ラオス)を設立し、ストロボ用を全面的に移管。タイ工場は新たな成長戦略を展開している。



佐藤 MD

コア技術をデジタルカメラ向けとして応用し、さらに車載向け需要が伸びることを踏まえた。99年にグループ会社である東京コイルエンジニア(ラオス)を設立し、ストロボ用を全面的に移管。タイ工場は新たな成長戦略を展開している。

タイの生産拠点は、チェンマイ市近郊のランブーン工業団地に89年に設立した東京コイルエンジニア(タイランド)は、99年にグループ会社である東京コイルエンジニア(ラオス)を設立し、ストロボ用を全面的に移管。タイ工場は新たな成長戦略を展開している。

ASEANで躍進 日系電子部品工場

